

さまざまな技術支援で 被災地方公共団体を強力サポート

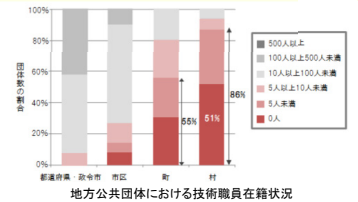
国土交通省 **TEC-FORCE**

TEC-FORCEとは・・・

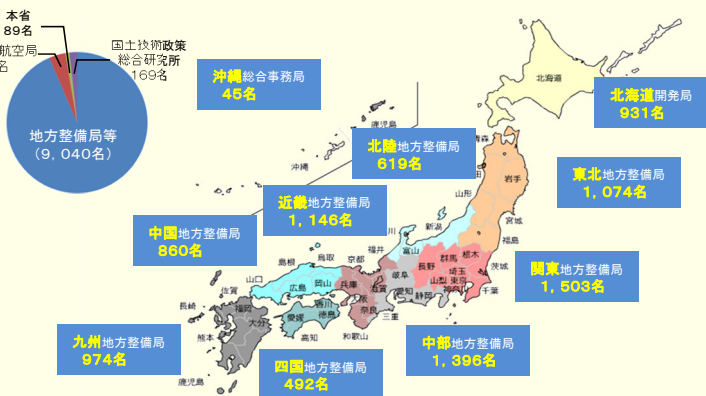
- 大規模自然災害への備えとして、被災地方公共団体等が行う被災状況の把握、被害の拡大防止、被災地の早期復旧、その他災害応急対策に対する**技術的な支援を、円滑かつ迅速に行えるようTEC-FORCE(緊急災害派遣隊)を創設(平成20年4月)**
- 職員を**あらかじめTEC-FORCE隊員として任命し、人材や資機材の派遣体制を構築**
- 研修の実施により人材育成を行い、**災害現場で活躍できるスキルを事前に取得**
- Technical Emergency Control FORCE**を略して**TEC-FORCE**

地方公共団体がかかえる問題

- 災害初動期には、人的被害の把握や避難所の開設に、多くの労力が必要となり、自ら公共土木施設の状況把握を実施することは困難な状況にあります
- 技術職員が数名程度しか在籍していない地方公共団体も多く、災害復旧事業の実施に必要な一連業務のノウハウを持った職員が減少しています

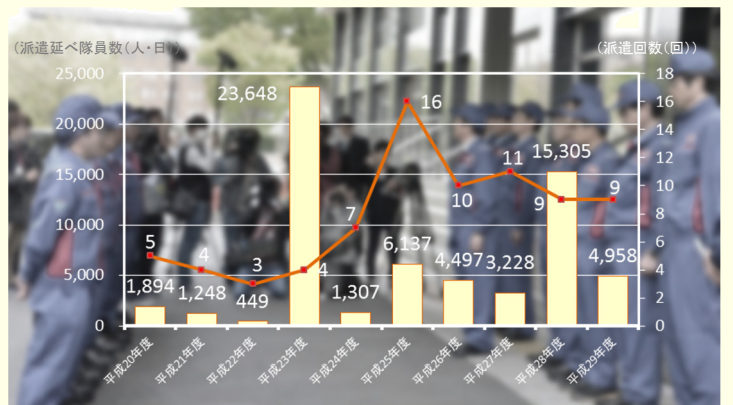


TEC-FORCE任命状況(H30.4現在)



全国で約9,600名の職員が隊員に任命されています

派遣実績(H29.12末時点)



これまでに78の災害に対し延べ6万人を超える隊員を派遣しました

これまでの主な活動内容 ～国土交通省の人材・ノウハウを生かし、被災に応じた様々な支援を実施してきました～

<h4>■リエゾン</h4> <p>被災した地方公共団体に職員を派遣 地域の状況、要望を徴収し支援内容を提案</p>	<h4>■湛水地域の早期解消</h4> <p>排水ポンプ車を配備 たまった水を吐き出し、湛水地域を早期に解消</p>	<h4>■進入路の確保(道路)</h4> <p>道路上にあふれたガレキ等を除去 物資輸送・医療支援に必要な進入路を確保</p>	<h4>■輸送路の確保(航路)</h4> <p>浮遊物、沈没物を除去 航路を確保し、緊急物資輸送路を確保</p>	<h4>■公共施設の被災状況把握</h4> <p>公共施設の被災状況を把握 災害復旧事業の基礎資料を作成</p>
<h4>■通信手段の確保</h4> <p>衛星通信車等を配備 通信が遮断された地域での通信環境を整備</p>	<h4>■応急措置への技術指導</h4> <p>高度技術をもった専門家を派遣 応急措置、復旧方針等について技術指導</p>	<h4>■自治体職員の健康管理をサポート</h4> <p>仮眠が可能な待機支援車を配備 被災地方公共団体職員の休息環境を提供</p>	<h4>■最新技術を導入し、より安全・効率的に活動</h4> <p>建設機械を遠隔操作 作業従事者の安全を確保</p> <p>UAVを用い現地状況を撮影 画像解析を行い、被災状況等を確認・計測</p>	



H20 発足式



H20 岩手・宮城内陸地震



H20岩手沿岸北部地震



H21駿河湾沖を震源とする地震



H22台風9号(小山町)



災害対策用ヘリコプター まんなか号



H23東日本大震災



H23東日本大震災



H23東日本大震災



H23東日本大震災



H23東日本大震災



H23台風12号(能登地域)



H24九州北部豪雨



H25台風18号(小浜市)



H25台風26号(伊豆大島)



H25台風26号(伊豆大島)



TEC-FORCE

発足10年



H26低気圧による豪雪(群馬県)



H26丹波市災害支援



H26広島市災害支援



H26御嶽山噴火



H27関東・東北豪雨



H26御嶽山噴火



H28熊本地震



H28熊本地震



H28台風10号



H29九州北部豪雨



H29九州北部豪雨



H30福井大雪